

～院長コラム～

『 溺水 』

一般的にみることは少ないですが、勤務医をやっていると夏場に遭遇することがあります。

わが国では、溺水は子どもの不慮の事故による死因で常に上位を占めています。

4歳までは浴槽内が多く、5歳以降から河川などの自然水域の比率が高くなります。

男児の方がやや多くみられます。

溺水は、大人（保護者）が近くにいっても気づかないことが多いです。

溺水の病態の本体は、低酸素血症です。

酸素欠乏の時間と低酸素血症の程度が予後（病気の結末）決定因子となります。

軽症だと判断しても、救急外来で6-8時間観察するか、経過観察入院が必要です。

以前、河で泳いでいて溺れて救急外来に搬送された小学生の男児がいました。

その河川敷で私らはサッカーの試合をしていました。

救急に行って診察したところ、大きな異常がありませんでしたが、入院後3日目から咳が出て呼吸困難になりました。

胸部レントゲン上で肺炎を確認しました。

1週間入院して退院となりました。

こういうことがあるんです。

「こども健康ネットブログ」より

なかしまこどもクリニック



通信

2023年9月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付 △:乳幼児健診及び予防接種



TEL:058-327-3100

2015年5月11日～

診察・予防接種
インターネット予約
QRコード



なかしまこどもネット
※名前を入力して送信
して下さい



こども健康ネット
ブログ
QRコード



なかしまこども
クリニック
公式LINE



FUKUSUKE
チャンネル
YouTube